

弥生

長唄

全詞章

作詞者・作曲者不詳

春の景色をうつしては、うたひ謡はん、若草萌えつ山々に、引ける霞の其の下に、笑ふ桜の可愛らし

御代の治まるしるしと、雲井に飛べる鶴うれし、御狩は今日か飛鳥山、花の木蔭の小袖幕、弾く三味線に舞ふ姿、蝶も俱に来よ舞はん

今も変らぬ江戸紫に、交る路考茶ゆかしけれ、そも市松は六法の、丹前羽織伊達に残りて偲び草

忍ぶ春雨小梅の寮に、とどく芝居の番附や、炉塞ぎすぎて二の替、女のすなる雛まつり、何れ劣らぬ春ぞ楽しい